

## 「FIT 友の会」森林インストラクター資格取得支援講座

### 「森林その1」

2020年6月21日(日) 曇り 長池公園

八王子市の長池公園で、感染防止策をとって『資格取得支援講座』「森林その1」を実施しました。



窓を開放し座席を空けて実施

午前中は「森林」科目前半の4つの項目、森林の生態、樹木、森林の観察、森林の植物についてその内容の解説と過去の出題問題を使った演習を行いました。森林の生態は「森林」科目の根幹を成す項目なので、重要な用語を中心に解説がありました。過去問を使った演習では、300字記述問題、穴埋め問題、選択問題、自由記述問題に回答する練習をしました。「森林」科目の全体イメージの把握と4種類の出題形式の問題に回答する感覚を実感しました。

午後は、初夏の長池公園の雑木林で「森林の植物を知る」をテーマに自然観察の実習を行いました。公園内の植物(草や樹木)の実物を見て、その種名や区分、繁殖器官

の特徴〔完備花/不完備花、単性花/両性花〕、栄養器官の特徴〔鋸歯の有無、葉序〕、更新散布方法〔実生、萌芽、風・重力・自発・動物〕の項目について確認しました。

さらに「五感で知る」として、花や実の色、葉っぱの香り、手で触れた感触、樹皮の凸凹、トゲの有無等を観察しました。

エノキとムクノキの特徴、ヤマグワとヒメコウゾの違い、ネムノキの2回偶数羽状複葉とイヌザンショウの奇数羽状複葉、ナンテンの三回三出複葉の比較、クヌギとコナラの樹皮の識別、ホオノキの葉、アカメガシワの葉のつき方、ムラサキシキブの花のつき方、ニシキギの翼、アジサイの花、スギ、ヒノキ等針葉樹の特徴を観察しました。木の実(ベリー系)やミツバウツギ、マユミ、エゴノキ、サンショウの種子がついていて、実物を見ると色々な疑問(今まで気づかなかったこと)ができました。

試験を受ける会員の皆さんには図鑑やインターネットで調べて新たな知見を増やし、植物に親しんで欲しいと思います。



コナラは樹皮の凸部が平らです

参加者：氏家さん、栗崎さん、関口さん、高田さん、高橋さん、  
保科さん、三井さん、山本さん

講師：槇田 幹夫(事務局代行)

スタッフ：小野さん、芝原さん(写真)、古谷、横井さん、

(報告：FIT友の会運営スタッフ 古谷一祐)







講義：ドアを開放して一人一机



演習：窓側に座る運営スタッフも回答



実習：ミツデカエデの若葉が赤い訳は



実習：ムクノキの葉を触ってエノキとの違いを実感



実習：ヤマグワの葉の形の違いを観察



実習：ホオノキの葉は単葉？掌状複葉？



実習：サンショウは香りと味で識別



実習：サカキとヒサカキの区分点は